

わたしたちが答えます！



大規模災害や多様化する災害に対応するため

スズメています

消防救急の広域化

おしえて
消防救急の広域化



消防救急の広域化とは、119番通報を受け、火災や救急などの災害現場に
出動し対応する消防本部(消防団を除く)を統合するものです。

☎ 危機管理課
055-948-1482

なんで広域化が必要なの？

近いうちに発生すると言われている駿河トラフ・南海トラフ沿い地震。被害は、県内だけでも10万人を超える死者を想定しています。このような大規模な災害に、迅速かつ効率的に対応するため、これまで以上に大きな組織での消防救急活動が求められています。
また、近年の消防救急活動は、火災や土砂崩れのみならず、化学薬品事故や細菌汚染などさまざま。これら多様化する災害に対して、いち早く対処するための専門的な技術を持った職員を出動させる必要があります。
これら課題を解決するため、現在、全国各地で『消防救急の広域化』が進められています。

地域の消防団はどうなるの？

消防団は、自治体(市)ごとで組織されているので、広域化しても今までどおり変わりません。

いつを予定しているの？

平成28年4月1日までの広域化を目指しています。

ぼくたち・わたしたちの田方消防は、どうなるの？

現在、伊豆の国市は、伊豆市、函南町と共同で『田方消防組合』を組織して消防救急活動を行っています。
さらなる消防力の強化を目指して、田方消防組合(2市1町)に、沼津市、清水町、伊東市、東伊豆町を加えた4市3町で構成する駿東伊豆地区消防救急広域化協議会(任意)で協議を進めています。

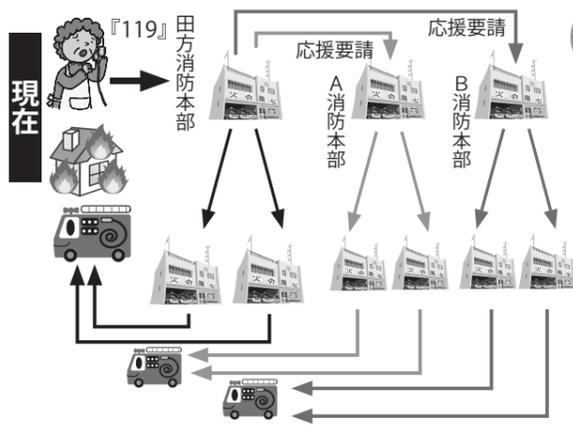


消防救急の広域化が実現すると

こんなメリットが!!

1. 迅速性がアップ

災害が発生した場合、119番通報を受けた消防本部が、まず消火活動を行います。
災害の規模が大きい場合は、周辺地域の消防本部に応援を要請する2段階での体制を整えています。
しかし、消防本部が一つとなり、広い地域をカバーする体制が初めから整っていれば、より迅速な消防救急活動が行えます。



2. 現場で活躍する隊員を増強

消防本部には、実際に災害現場で消防活動を行う仕事のほかに、事務的な仕事や119番通報を受けて指令を出す仕事があります。
消防の広域化により複数の消防本部が統合されれば、これら仕事が増え、隊員として、現場で活動させることができます。

3. 予算をスリム化

通信指令センターや消防救急無線のデジタル化を広く実施することで、費用の削減が見込めます。
また、規模が大きくなることにより、高度な資機材を装備することが可能になります。

市民の安全を守るため、おねがいします！



ワンポイント情報

駿東伊豆地区以外にも、県内では広域化が進められています。



- すでに広域化を実施した市町
 - ▽志太広域事務組合(焼津市・藤枝市) 平成25年3月31日
 - ▽下田地区消防組合(下田市・南伊豆町・河津町・西伊豆町・松崎町) 平成25年4月1日
 - 広域化の協議会を設置し、検討を進めている市町
 - ▽静岡地域消防救急広域化運営協議会(静岡市・島田市・牧之原市・吉田町・川根本町)
- 平成28年4月予定

